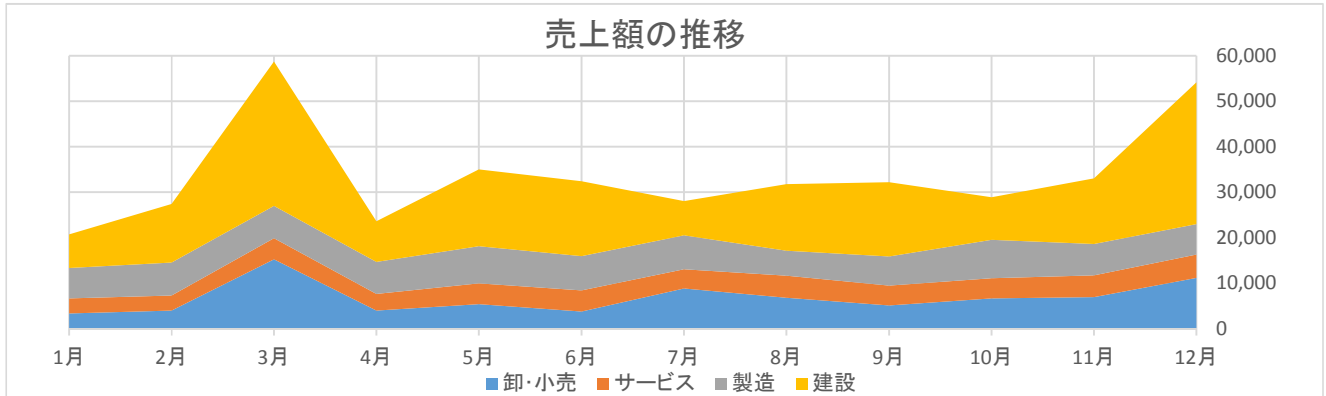


中能登町商工会小規模事業者景況調査結果（調査期：平成30年7月～12月）

- ・前年同期比は、今期と平成29年7月～12月との比較
- ・来期見通しは、当期と比較した平成31年1月～6月の見通し
- ・対象企業：卸小売業 5社、サービス業5社、製造業5社、建設業5社

1. 売上額の推移（平成30年1月～平成30年12月）

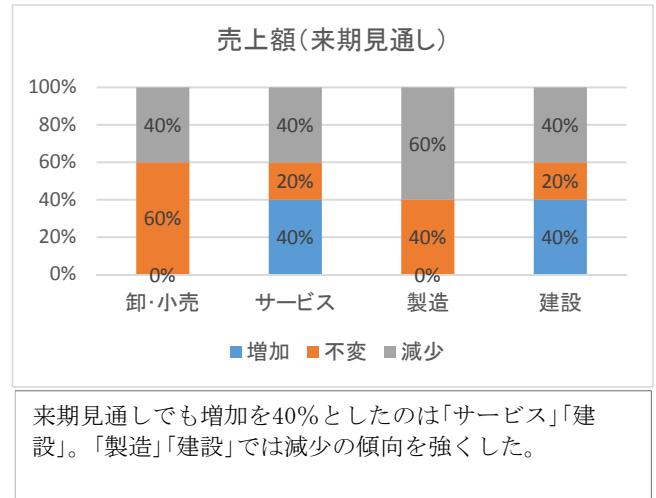
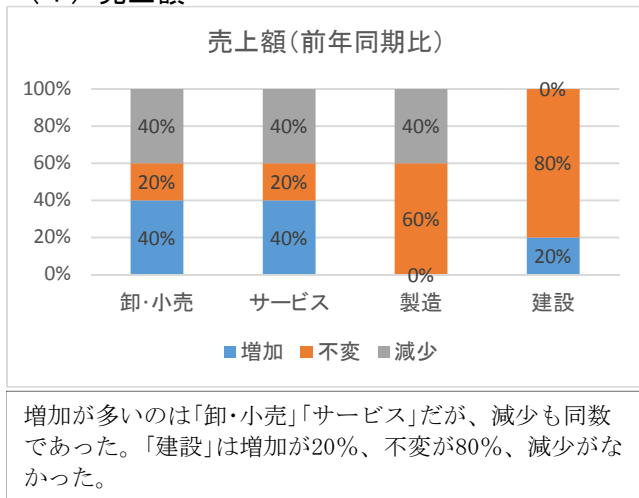
業種別売上高の推移



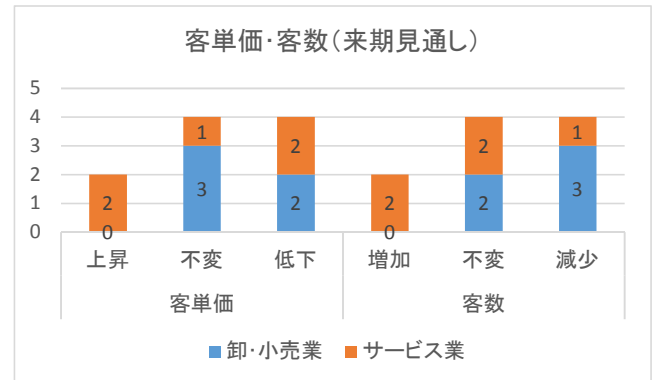
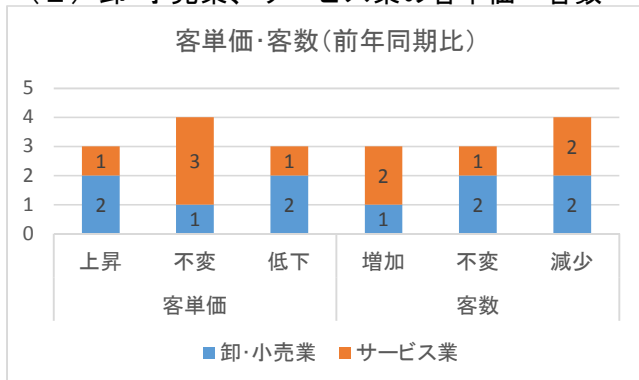
売上額は年度末、年末で多くなっており、特に建設業では顕著で受注工事高や経理上の計上時期の影響によるものと思われる。

2. 平成30年7月から12月期の状況

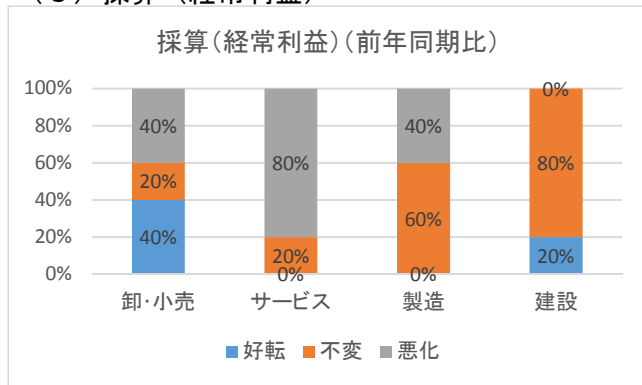
（1）売上額



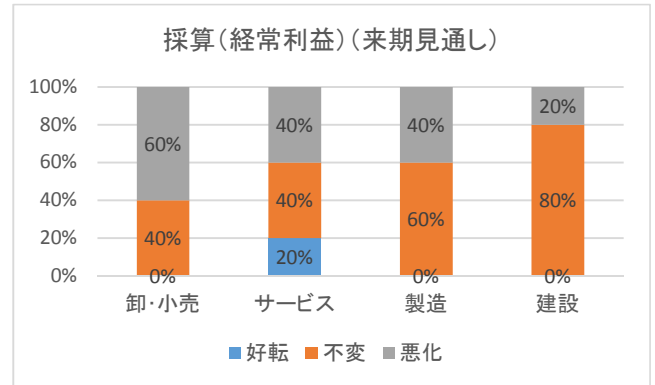
（2）卸・小売業、サービス業の客単価・客数



(3) 採算（経常利益）

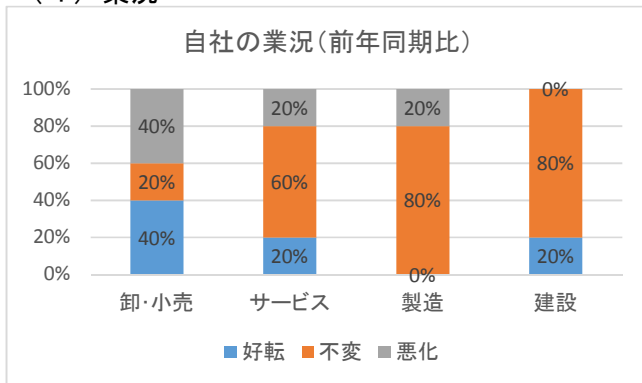


前年同期に比べ、「サービス」で80%と悪化が突出して多く、好転は「卸・小売」「建設」で見られるのみ。「建設」のみ悪化がゼロであった。

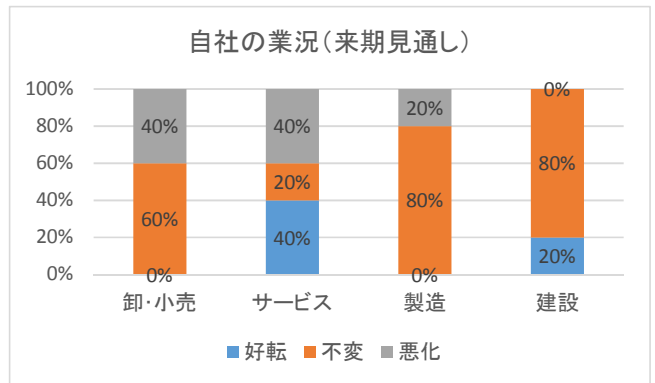


採算の来期見込みで、好転があるのは「サービス」のみ。「卸・小売」で最も下降予測が多かった。

(4) 業況



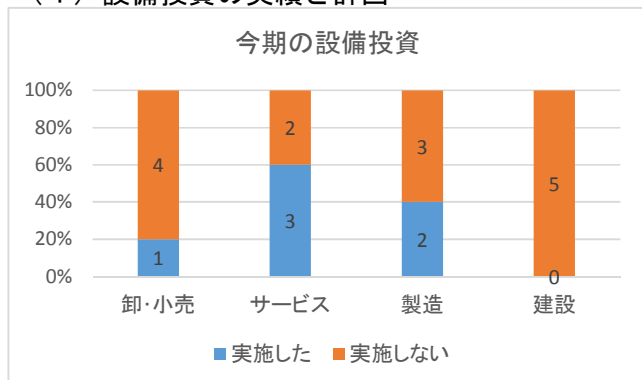
「卸・小売」で増加、悪化とも40%と最多、「製造」のみ好転がなく、採算も含め厳しくなっている。



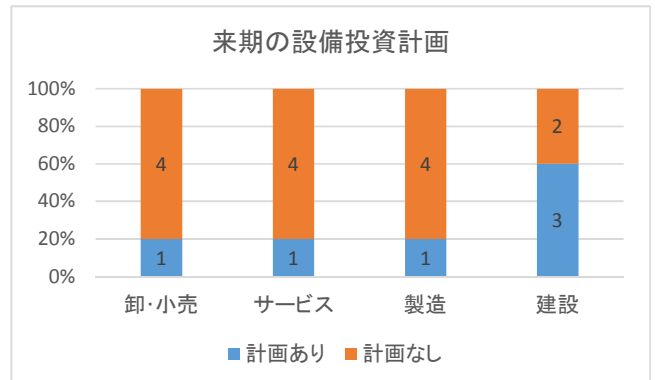
来期見通しは、「サービス」で好転が増加、それ以外では不変の予想が広がっている。

3. 設備投資の状況

(1) 設備投資の実績と計画



「建設」以外で設備投資が実施され、「サービス」の3件が最多であった。



来期での設備投資計画は、「建設」3件と最多となった。

(2) 設備投資内容

(今期の実績)

- ・卸・小売…車両
- ・サービス…車両・土地建物・サービス設備
- ・製造…工場建物・製造設備・車両等
- ・建設…車両・建設設備・その他

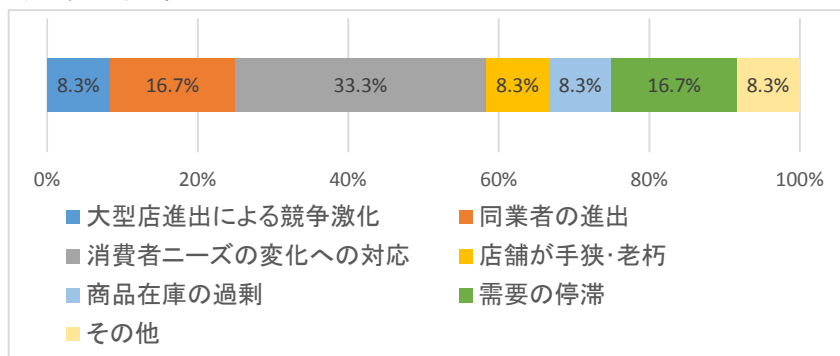
(来期の計画)

- ・卸・小売…冷蔵庫
- ・サービス…建物・サービス設備
- ・製造…設備・付帯施設等
- ・建設…車両・建設設備等

4. 今期直面する経営課題

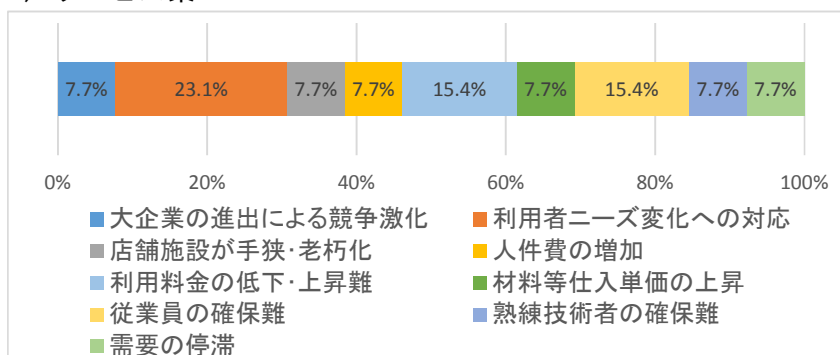
※複数回答

(1) 卸・小売業



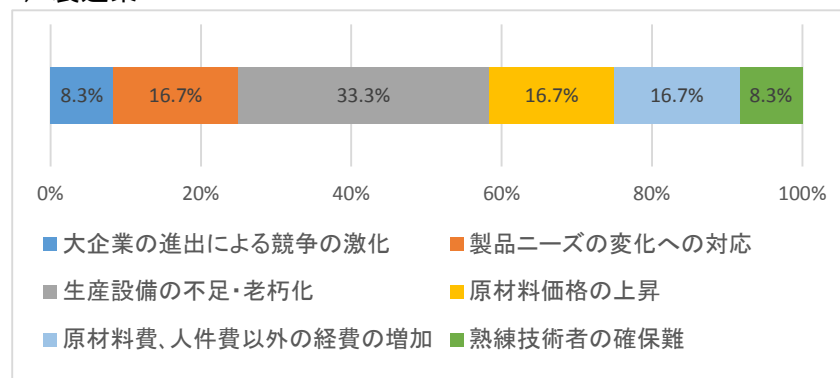
「消費者ニーズの変化への対応」が1/3で最多、「同業者の進出」「需要の停滞」が同数で続いている。

(2) サービス業



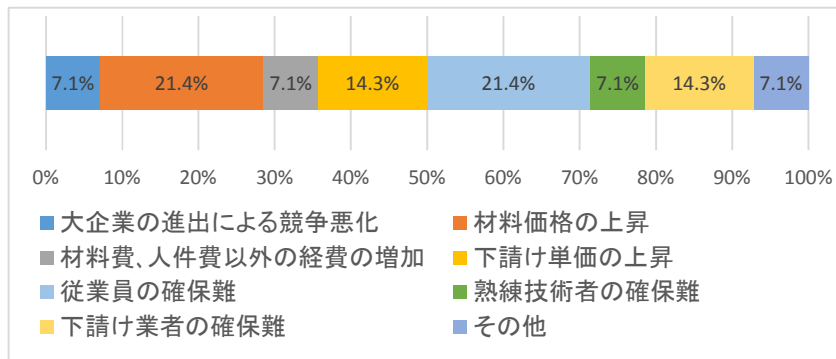
「利用者ニーズ変化への対応」が23%と最多、「利用料金の低下・上昇難」「従業員の確保難」が続いている。

(3) 製造業



「生産設備の不足・老朽化」が1/3を占め、「製品ニーズの変化への対応」「原材料価格の上昇」「原材料費、人件費以外の経費の増加」が同率で続いている。

(4) 建設業



「材料価格の上昇」「従業員の確保難」が多く、「下請単価の上昇」「下請け業者の確保難」が続いている。

5. 今期の業況、感じていること

- ・高齢化と人口減少で購買力が低下、店売り以外で売上確保している。
- ・送料上昇が経営に影響。
- ・低価格競合店との棲み分けで客数確保している。
- ・設備投資に伴い利益減少したが売上は増加、サービス維持のため雇用を検討。
- ・設備投資により資金繰り悪化しているが、今後投資効果を確保したい。(2件)
- ・経営者自身が高齢化、後継者なく課題と感じている。